

観光客で大にぎわい 観光スポットが熱い!

7月の京都縦貫自動車道全線開通をうけ、舞鶴赤れんがパークと舞鶴港とれとれセンターが盛況です。

赤れんがパークでは、この夏、ここを中心に市内全域を会場として約2カ月にわたって「まいづるまち博」が開催されました。期間中は、オープニングフェスタに始まり、サマーイルミネーションなどのイベントや「海の京都」ならではの遊覧船の運航もおこなわれ、多くの観光客で賑わいました。さらに、この盛り上がりは、夏の間だけに留まるものではありません。9月のシルバーウィークには、1日に何千人もの観光客が来られ、中でも遊覧船に人気があり、定期便では間に合わずに臨時便を出すほどの人混みだったそうです。赤れんがパークに来られたお客様からは「赤れんがパーク内で舞鶴産の魚を使用した料理やお寿司をいただきましたかった」などのご要望もあったそうです。



とれとれセンターで新鮮な魚を対面販売

一方、舞鶴港とれとれセンターでは、特に今年8月の盆休みは、年を追うごとに当市への海水浴客が減少するなかで、海水浴以外での府北部への日帰り旅行と思われる方の立ち寄りが増え、来館者数が前年の同時期よりも増加している様子です。お客様の多くは、年配者のグループで、7割が京阪神から来られます。さらに、道路交通網の整備が進んだことから岐阜県や愛知県からの来客も増えていると聞きました。特に、連休ともなると1日当たり10,000人を超える来館もあるようです。

秋の観光シーズンは、これからが本番です。舞鶴引揚記念館も9月28日にリニューアルオープンし、今後さらに観光客の増加が予想されます。赤れんがパークでは、当所会員事業所も出展する「赤れんがフェスタ」が10月に、「まいづる地場産市場」が11月にそれぞれ開催され、大いに盛り上がる事が期待できます。



赤れんがパークで土産物を買求めるお客様